

1. 開催日時: 2017年11月19日(日) 8:00~9:15
2. 開催場所: ナレッジキャピタルタワーB 10階 カンファレンスルーム B01-B02
3. 出席者:理事16名(委任状) 敬称略
理事:秋元哲夫理事長、加賀美芳和、鹿間直人、宇野 隆、大野達也、唐澤久美子、古平 毅、櫻井英幸、副島俊典、戸板孝文、永田 靖、中村和正、播磨洋子、吉村亮一
監事:三橋紀夫、早川和重
欠席:小川和彦、小口正彦
4. 審議事項
 - (1) 第一号議案:議長ならびに議事録署名人の選任
 - (2) 第二号議案:庶務報告
 - (3) 第三号議案:会費の納入状況
 - (4) 第四号議案:現在進行中の臨床試験(プロトコール一覧)
 - (5) 第五号議案:委員会報告
 - 1) 参加施設一覧
 - 2) 教育・広報委員会
 - 3) 効果・安全性評価委員会
 - 4) 臨床試験審査委員会
 - 5) 部位別委員会報告
脳・神経系腫瘍委員会
肺・縦隔腫瘍委員会
泌尿器腫瘍委員会
頭頸部腫瘍委員会
乳腺腫瘍委員会
悪性リンパ腫・血液腫瘍委員会
消化器腫瘍委員会
婦人科腫瘍委員会
小児腫瘍委員会
緩和医療委員会
粒子線治療委員会
 - (6) 第六号議案:各試験の進捗報告
 - (7) 第七号議案:その他
 - 1) SNS、Facebook を利用した情報発信について
 - 2) JASTRO との連携について
 - 3) 市民公開講座を含めた講演会企画
 - 4) 海外出張支援事業の選考規定について
 - 5) 委員会規程や細則について(HP)

5. 議事の経過の概要および議決の結果

(1) 第一号議案: 議長ならびに議事録署名人の選任

議長に秋元哲夫理事長、議事録署名人に櫻井英幸理事、唐澤久美子理事を選任した。

(2) 第二号議案: 庶務報告

- ① 正会員個人会員336名(新入会7名、退会1名)、賛助会員は、現時点で下記の11社と報告し承認された。
- ② 日本放射線防禦株式会社、大鵬薬品工業株式会社、ユーロメディテック株式会社、株式会社メディコン、株式会社千代田テクノル、エレクトラ株式会社東京支社、株式会社バリアンメディカルシステムズ、東芝メディカルシステムズ株式会社、日本メジフィジックス株式会社、メルクセローノ株式会社(2口)、住友重機械工業株式会社(2口)
- ③ バナー広告は3社。
- ④ 参加施設は131施設。
- ⑤ 2017年度の生物統計コンサルテーション実施状況: 10月31日時点で計2件のコンサルテーションがあった旨とその内容の説明がなされた。

(3) 第三号議案: 会費の納入状況

- ⑥ 2年および3年間の会費未納リストが確認された。3年間会費未納の会員1名で、支払いまたは退会の意志を確認することが確認された。会費の納入率は76.19%(正会員336名中未納者は80名)。

(4) 第四号議案: 現在進行中の臨床試験(プロトコル一覧)

秋元理事長から現在進行中の臨床試験の一覧の資料に基づいて説明がなされた。

(5) 第五号議案: 委員会報告

① 教育・広報委員会

副島委員長から下記の報告があった。

- 1) 新委員の確定
- 2) 国際リンパ腫放射線グループ(ILROG)の教育セミナーを2019年東京で開催する際に教育広報委員会もサポートする。→詳細決定後に改めて報告と検討。

② 効果・安全性評価委員会

今回は報告なし。

③ 臨床試験審査委員会

鹿間委員長欠席であったため、プロトコル審査状況について、資料で確認をした。

④ 脳・神経系腫瘍委員会

提出された活動報告が資料で確認された(理事会資料参照)。

⑤ 肺・縦隔腫瘍委員会

永田委員長欠席で添付資料もなし。

⑥ 泌尿器腫瘍委員会

中村委員長より下記について報告があった。

- 1) 膀胱小細胞癌、前立腺癌非腺癌症例の放射線治療の予後に関する調査研究
膀胱小細胞癌: 症例集積を終了し、結果をESTROにて発表した。
前立腺非腺癌: 現在、調査についてのアンケートを実施中である。
- 2) 前立腺癌 N1 症例の放射線治療成績に関する調査研究
前立腺癌 N1 症例の放射線治療成績の調査研究を予定している。
- 3) 前立腺中リスク群に対する陽子線の多施設共同臨床試験

AMEDにて行うが、JROSGの番号も取得しJROSGとしても実施する予定である。
並行して、IMRTにて治療した前立腺癌症例について前向き登録を実施予定ある。

4) 骨転移前立腺癌の治療方針のアンケート

JROSG 泌尿器腫瘍グループおよび基盤研究(B)「肺・肝以外の諸臓器における
定位放射線治療の効果と安全性の評価」(研究代表者:大西洋)の発案で、
JASTROの放射線治療専門医を対象として、骨転移前立腺癌の治療方針について
のアンケート調査を予定している。

⑦ 頭頸部腫瘍委員会

古平委員長より以下の報告があった。

1) JROSG 12-2 日本人の頭頸部癌患者における Cetuximab を含む治療の観察
研究 研究事務局 兵庫がん C 太田委員(部門別委員)、研究代表者 愛知がん C
古平委員(グループ代表)、自治医大 藤井 博文先生(JROSG 会員 腫瘍内科医)
H29/2/1をもってLA181例 RM120例の予定症例登録が全て終了。1年後に追跡調査
終了し発表論文の予定。

2) 原発不明癌の調査研究の経過

山崎委員 JJCOに採択。

3) 喉頭癌の診療指針アンケート結果の論文

茂木委員 投稿中。

4) 頭頸部癌照射野内再発症例に対する再照射に関する調査研究の進捗報告

論文作成中。

⑧ 乳腺腫瘍委員会

唐澤委員長より以下の報告があった。

【活動状況】

1. 乳房温存術後の乳房照射の照射方法についての調査研究(責任者 相部)
全乳房照射に関する、照射範囲や治療技術などの詳細な調査を行い、全乳房射
法の標準化、high tangent fieldの定義とその照射野の標準化へと繋げる。調査研
究であり、JROSG 乳腺腫瘍グループとして JASTRO 班研究に応募し採択され、今回
の JASTRO で班研究報告を行う(報告書は別紙)。今後、論文投稿予定である。

【検討中の臨床試験】

1. 寡分割乳房部分照射の臨床試験

高精度を追求しない多くの施設で行える外部照射法で、I期低リスク症例に対し
て 40Gy/10回の寡分割乳房部分照射を行う臨床試験を企画中である。模擬症例
にてドライランを行い照射方法の詳細を詰めた。

2. 乳房切除術後照射(PMRT)における寡分割照射法の前向き臨床試験

乳房切除術後照射(PMRT)でも寡分割照射は温存乳房照射同様に患者の負担軽減
に有効と考えられる。アジア原子力協力フォーラム(FNCA)の放射線治療プロジ
ェクトが一昨年より行っている寡分割PMRTの研究プロトコル(患側胸壁+リン
パ領域 43.2Gy/16回)に準じたプロトコル治療を行い、十分な安全性と有効
性を有するかを評価する臨床試験を企画中である。

⑨ 悪性リンパ腫・血液腫瘍委員会

資料について以下の確認をした。

1) 調査研究

① 節外性NK/T細胞リンパ腫:鼻型の治療に関する調査研究「新世代治療導入後の

未治療NK/T細胞リンパ腫における治療実態把握と予後予測モデル構築を目的とした国内および東アジア多施設共同後方視的調査研究(NKEA project) (UMIN000015491)の放射線治療部分を、三重大学血液内科の山口素子先生の研究班と合同で実施いたしました。症例登録に御協力いただきました皆様のご協力を深く御礼申し上げます。本研究はJ Clin Oncol. 2017 Jan;35(1):32-39に掲載されています。放射線治療内容の解析結果を、2017年国際リンパ腫会議(14-ICML)と2017年JASTROにて報告させていただきました。

② 造血幹細胞移植前処置としての全身照射の対象疾患および照射方法および晩期有害事象の全国調査研究が実施されました。御協力いただきました皆様のご協力を深く御礼申し上げます。解析結果を、2017年ASTROにて2演題を報告し論文投稿中です。

2) 前向き試験 節外性NK/T細胞リンパ腫:鼻型に関して企画中です。

3) 教育活動

第2回ILROG教育セミナーは2019年春に東京にて開催予定です。

⑩ 消化器腫瘍委員会

今回は報告なし。

⑪ 婦人科腫瘍委員会

大野委員長より下記について報告があった。

子宮頸癌の放射線治療予後予測因子としてのバイオマーカー(ApoC-III)、腫瘍の放射線療法多施設調査、子宮頸癌治療後のQOLに関する全国調査、骨盤リンパ節転移を有する子宮頸癌術後放射線療法について論文作成・投稿中である。

⑫ 小児腫瘍委員会

資料で下記の報告の確認をした。

■活動状況

特定非営利活動法人日本小児がん研究グループ(JCCG)固形腫瘍分科会および血液腫瘍分科会が実施および計画している臨床研究に対してJCCG放射線療法委員会として参画(放射線治療アドバイス、放射線治療QA/QCなど)している。

固形腫瘍分科会の臨床研究について下記に記す。

登録中、開始予定の臨床研究

1) 高リスク神経芽腫に対するICE療法を含む寛解導入療法とBU+LPAMによる大量化学療法を用いた遅延局所療法 第Ⅱ相臨床試験(神経芽腫)登録期間 2015/2/6-2018/3/31

2) 中間リスク群神経芽腫に対するIDRFに基づく手術適応時期の決定と段階的に強度を強める化学療法による第Ⅱ相臨床試験(神経芽腫)登録期間 2011/6/21-2016/6/20

3) 初診時血清診断による、神経芽腫の無治療経過観察研究(神経芽腫)登録期間 2016/2-2021/1

4) 横紋筋肉腫低リスクA群患者に対するVAC1.2(ピンクリスチン、アクチノマイシンD、シクロホスファミド1.2g/m²)/VA療法の有効性及び安全性の評価 第Ⅱ相臨床試験(横紋筋肉腫)登録期間 倫理委員会承認日-2019/3/31

5) 横紋筋肉腫低リスクB群患者に対するVAC1.2/VI療法の有効性及び安全性の評価 第Ⅱ相臨床試験(横紋筋肉腫)登録期間 倫理委員会承認日-2018/12/31

6) 横紋筋肉腫中間リスク群患者に対するVAC2.2/VI療法の有効性及び安全性の評

価 第Ⅱ相臨床試験(横紋筋肉腫)登録期間 倫理委員会承認日-2019/12/31

7) 横紋筋肉腫高リスク群患者に対するVI/VPC/IE/VAC療法の有効性及び安全性の評価 第Ⅱ相臨床試験(横紋筋肉腫)登録期間 2017/2/1-2020/1/31

8) 髄芽腫に対する新リスク分類を用いた集学的治療のパイロット試験(脳腫瘍)登録期間 2014/12/25-2016/12/24

9) 非定型奇形腫様/ラブドイド腫瘍(AT/RT)に対する髄注併用化学療法と遅延局所放射線治療のパイロット試験(脳腫瘍)登録期間 2016/4/7-2018/4/6

⑬ 緩和医療委員会

鹿間委員長欠席のため資料で下記の報告の確認をした。

審議事項

なし

報告事項

1. JROSG11-1(研究代表者:静岡がんセンター・原田英幸委員)

2015年11月までに27例を登録し追跡調査を行った。CRFの回収と主たる指標の最終解析を終了し、ASTRO(米国放射線腫瘍学会)でポスター発表として報告した。

今後、論文作成を進めるとともに、副次解析に関して検討を進める。

2. 「出血を伴う胃癌への緩和的放射線治療の有効性を調べる前方視的多施設研究 JROSG17-3」(研究事務局:熊本大学・斎藤哲雄委員、藤枝市民病院・小杉委員)を準備し、2017年9月21日にフルプロトコールが理事会承認された。現在、参加施設を募るとともに、IRB承認に向けて書類作成中である。

⑭ 粒子線治療委員会

櫻井委員長より以下について報告があった。

1. 前向き介入研究

JROSG粒子線治療委員会は、先進医療Bの枠組みでの臨床試験を推進し、陽子線治療の臨床試験の委員会としての機能を発揮している。

「切除不能、局所療法不適の肝細胞癌に対する陽子線治療の多施設共同臨床試験」(研究責任者、白土博樹)は、JROSGのプロトコール審査を終え、臨床試験が開始された。2017年8月末の登録数は14例である。

「切除不能かつ化学療法非奏功または不耐例の肝内胆管癌に対する陽子線治療」(研究責任者、櫻井英幸)については、JROSGのプロトコール審査を終え、臨床試験が開始された。2017年8月末の登録数は0例である。

「局所限局性前立腺癌中リスク症例に対する陽子線治療の多施設共同臨床試験前立腺癌(中リスク)」(研究責任者、櫻井英幸)については、先進医療会議での認可を受け実施予定となっているが、計画書の文言の修正について、当局と調整中である。

2. 後ろ向き研究

「早期肺癌に対する陽子線治療の後ろ向き研究」

癌治療学会、放射線腫瘍学会などで発表の後、英文誌に投稿予定。

「前立腺癌に対する陽子線治療の後ろ向き研究」

癌治療学会、放射線腫瘍学会などで発表。英文誌に投稿中。

(6) 第六号議案:各試験進捗状況について資料にて確認された。

(7) 第七号議案:その他

1) SNS、Facebookを利用した情報発信について

秋元理事長から下記の趣旨の提案がなされた。

目的:外部および日々の情報発信の促進と活性化、支援企業から活動が分かるようにする、など

実施方法:

- 1) JROSG の Facebook Page を作成して、定期的の JROSG の活動などを掲載
- 2) 教育・広報委員会が中心になり、理事や会員で担当持ち回り

掲載内容案

- 1) 放射線治療の情報:論文紹介、放射線治療に関する話題
- 2) 講演会の告知(企業の関連講演会なども含む)
- 3) 放射線治療関連の研究会の告知、実施報告など
- 4) 会員からの話題提供

→SNS の問題点、費用などその実施に慎重な意見も出された。そのため、教育・広報委員会でその可否や実施方法を含めて検討することになった。

2) JASTRO との連携について

秋元理事長から下記の趣旨の提案がなされた。

目的:JASTRO との棲み分け、役割分担および JROSG の活動内容で JASTRO と連携できる項目については、情報交換を含めて相互の協力体制を構築

実施方法:

- 1) 担当理事設置
- 2) JASTRO 理事長ならびに理事との定期的な情報交換
- 3) 学術大会で、JROSG 関連のセッションなどを企画
- 4) 出版事業などの連携

→担当理事を置いて進めることが了承された。担当理事として宇野理事が窓口になり、進めることが確認された。

3) 市民公開講座を含めた講演会企画

秋元理事長から下記の趣旨の提案がなされた。

目的:JROSG の情報発信、支援企業と連携と支援企業の拡大

実施方法:

- 1) 教育広報委員会を中心に企画案を作成
- 2) 年度初頭に会員などからの意見募集を含めて企画案策定
- 3) JROSG 単独の講演会に加えて、支援企業または関連企業との共催企画も実施

→概ね了承され、実施方法を教育広報委員会で検討することで了承された。企業との共催の可能性も検討することになった。

4) 海外出張支援事業の選考規定について

修正案を資料で提示し、HP 上の規定を含めて修正することで了承された。

5) 委員会規程や細則について(HP)

以下の修正を行うことが報告され、修正すべき点を修正することが了承された。

- 1) 教育・広報委員会の規定 <http://www.jrosg.jp/iinkai/kyouiku.html>

◎第4条(業務)5. 内「iii、iv」の表記について

同条内の「3、4」を指すため、記載の統一

- 2) 部位別専門委員会細則

◎JROSG の組織図 <http://www.jrosg.jp/iinkai/sosiki.html>

>> 部位別委員会の記載順

◎部位別専門委員会 <http://www.jrosg.jp/iinkai/buibetu.html>

細則 第2条(委員長・委員)内の各委員会記載順および記載漏れ、アイコン掲載順の連動。

理事会資料や活動報告等の順番は、アイコン順に行われている。

文責
秋元哲夫

以上、この議事録が正確であることを証します。

2018年 2月 5日

議

長

秋元哲夫



議事録署名人

梶井 英亨



議事録署名人

唐澤 久美子



(秋元)

(梶井)

(唐澤)